

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2018年
5月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 小南 晃

印刷所
文明堂印刷所

三位一体なる神様に感謝

司祭 ヨハネ 秋山 義孝



たちに報いてくださる方であることを、信じていなければならぬからです。

人生の旅を考えると、神が共にいてその道を守り、導いてくださるといふ信仰を頂くことはすべての人に大切なことです。

信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確信することです。信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神が存在しておられること、また、神は御自分を求める者

も、やがて終わりの日が来ます。また互いに会うことができるかということが問題で、わたしたちの主イエス・キリストは、わたしたちの罪を背負い、十字架の上で死んでよ

みがえってくださいました。自分の罪を認め、悔い改めてイエス・キリストを救い主として受け入れる人は皆、恵みにより、その信仰により天国へ導かれます。

神の愛
主なる神は、土(アダムの塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

神の愛
土の塵にすぎないわたしたちに、今どこに、居るのかと愛と恵みに富給う神は常に問われている。「聖書(書物の中の書物)はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業も行いうことができるように、十分に整

えられるのです。
(IIテモテ3章16〜17節)

わたしたちを教え導くために愛なる神は聖書をお与えになりました。わたしたちは日々読み、親しんで御子イエスキリストにより、賜った限りない生命の望みを常に堅持して生活することが肝要です。

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。
(Iテサロニケ5章16〜18節)

人生の主なる神は、神の栄光をあらわし、永遠に神を喜ぶことです。わたしたちはこの信仰の恵みを常に覚えて感謝しなければなりませんし、未信徒に伝えなければなりません。
(Iテモテ4章8〜9節)

人生の旅を考えると、神が共にいてその道を守り、導いてくださるといふ信仰を頂くことはすべての人に大切なことです。

人生には試練や苦難、また思いがけない災害や事故、病気が失敗があります。しかし信心は、この世と来るべき世での命を約束するので、すべての点で益となるからです。この言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。

人生には試練や苦難、また思いがけない災害や事故、病気が失敗があります。しかし信心は、この世と来るべき世での命を約束するので、すべての点で益となるからです。この言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。

常にとともに信じて信仰・希望・愛のゆえに全人類一人一人を守り導いてくださる創造主、み子イエスキリスト、聖霊なる三位一体の神に感謝を捧げます。また聖旨を知り、すべての人々と共に生きて喜ぶ幸いに導かれることを希求して止みません。
(神戸教区退職司祭)